2015公認競技役員研修会

質問事項の回答

質問1：平泳ぎでは、肘は常に水中に入っていなければならない。（×）はOKなのでは？

回答：肘は、折り返し前の最後の一かき、折り返しの動作中およびゴールにおける最後の

一かきを除き、水中に入っていなければならない。よって（×）

質問2：平泳ぎのサイクルは、ゴールするまで手・足の順とその組み合わせで行わなければならない。（×）はOKなのでは？

回答：折り返し及びゴールタッチの前の最後の1回に限って足の蹴りに続かない手のカキを行うことができる。　よって（×）

質問3：背泳ぎの折り返しの際、うつぶせになり手でタッチするのは折り返し違反である。（×）はOKなのでは？

回答：折り返しを行っている間に泳者の身体の一部が壁に触れなければならない。

よって（×）、しかしこれは、マスターズ規則では失格になり非常に紛らわしい事例

です。日水連では、手タッチして足で壁を蹴る折返し動作は個人メドレーの背泳ぎ

から平泳ぎでの折返し同様で、違反になりません。

質問4：競技会に必要な様式について、電子データは配布されていませんか？

回答：配布はしていませんが、近藤大輔システム委員長に告知を促します。

質問5：日本実業団の課題とは？

　回答：日本実業団水泳競技大会の改訂ついて　２０１８年度より実施

1. 社会人のチャンピオンシップ大会に改め、年齢別を廃止する。
2. 実業団という名称とくくりを廃止し、クラブチーム・任意団体の参加を認める。
3. 適正な参加標準記録を設定する。
4. 団体対抗を廃止する。（リレーを廃止）
5. オリンピック種目に設定する。
6. 連続出場表彰を廃止する。

※その他、この後の競技会で随時質問の受付と回答を行っていきます。